

# 北羽新報

発行所 北羽新報社  
〒016-0891 能代市西通町3-2  
0185-54-3150  
0185-54-3158  
0185-54-3159  
047-322-0955  
022-273-0955  
018-823-4640  
0185-73-4036

部 0185-54-3155  
告 0185-54-3158  
販 047-322-0955  
東 022-273-0955  
京 018-823-4640  
支 0185-73-4036  
社 二ツ井支局

メガソーラー

## 県内最大規模を建設

J R E  
能代三種

### ゴルフ場で起工式 30年1月の売電目指す

米ゴールドマン・サックス系のジャパン・リニューアブル・エナジー（JRE、東京）が100%出資する特別目的会社（SPC）「合同会社JRE能代三種」が三種町と能代市にまたがる白神カントリークラブのゴルフ場に建設する「JRE能代三種太陽光発電所」の起工式が29日、現地で行われ、関係者35人が工事の無事を祈った。出力は1万6900キロワット（16・9メガワット）で、県内のメガソーラーでは最大規模。29年12月の完工、30年1月の東北電力への売電を目指す。

ばなし練習場で営業を続けている。

JREは24年8月から全国で売電事業を展開し、本県で太陽光発電に参入するのは初めて。東北の日本海側は日照時間が短い不利な気象条件下にあるが、ゴルフコースを生かしたパネル設置が可能なためほとんど伐採がいらず、大規模な造成工事が不要。開発コストが抑制できるため適地と判断、白神カントリークラブのゴルフコースを閉鎖し、最終18番ホールと打ちっ

起工式でくわ入れするJREの竹内社長



った農地を太陽光発電に有効活用したいと考える人はこの地域に多くいる。地主としてJREには地元企業への下請けをお願いしている。太陽光発電事業で地域に波及効果が生まれてほしい、三浦町長は「県内最大規模の太陽光発電所の建設地にこの地域を選んでもらい光栄。地元と共存共栄できるようお願いしたい」と話した。

発電事業の地域波及効果について竹内社長は「建設中は地元業者が工事に伴って、地元雇用も生まれる。土地を活用することで地域への税収も増える。完成後も発電所の掃除や草刈りなどのいろいろな仕事が20年間続く」と説明。JREは現在、国内で太陽光発電所22カ所、風力発電所2カ所を運営、日本海側にメガソーラーを建設するのは新潟県に次いで2カ所目。秋田は風況がよいので風力発電もいくつか候補地がある。バイオマス

発電も有望地がある」と本県での再生エネの供給拡大に意欲を示した。

白神カントリークラブの三浦町長らが玉串をささげて無事故を願った。

白神カントリークラブの高橋金正さん（左）は「後継者難で耕作できなくな

## 白神CCメガソーラー起工式 工事の無事を祈る



三種町と能代市にまたがる  
白神カントリークラブ(CC)  
に建設される県内最大の大規  
模太陽光発電所(メガソーラ  
ー)の起工式が29日、同町外  
岡の現地で行われた。再生可

くわ入れて工事の安全を  
祈願した起工式

エネルギー発電事業のジャ  
パン・リニューアブル・エナ  
ジー(東京、竹内一弘社長)  
が出力1万6900誌の施設  
を整備する。2018年1月  
の運転開始を目指す。

同社や施工業者、両市町な  
どから35人が出席。神事でく  
わ入れなどを行って工事の無  
事を祈った。終了後、竹内社  
長は「ゴルフ場の敷地なので、  
まとまった平たん地があり土  
木工事費が抑えられる。工事  
には地元業者も関わってお  
り、運転開始後も保守や草刈  
りなどを地元業者にやっても  
らいたい」と話した。  
建設地は白神CCの1〜17

番ホルの約30万平方メートル。年  
間発電量は一般家庭約480  
0世帯分の消費量に相当し、  
東北電力に売電する。

県によると、県内で稼働中  
のメガソーラーのうち、最大  
規模はにかほ市の施設で出力  
1万3161誌。ジャパン社  
の施設は完成すれば、これを  
上回る。

白神CCは先月末でコース  
を閉鎖し、打ちっ放しのス  
ペースと18番ホールを練習場と  
して営業している。

(菊池史利)